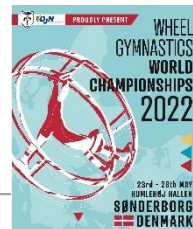


ラート情報誌「わっ！」

第 59 号 2022 年 5 月

ラート協会オフィシャルホームページ <http://www.rhoenrad.jp> e-mail office@rhoenrad.jp



2022 年 5 月 23～28 日 第 15 回世界ラート選手権大会がデンマーク(セナボー)で開催されます。COVID-19 の影響により、2020 年の世界選手権は延期、その後 中止となりました。2021 年の世界チームカップも中止、オンライン大会「チームトロフィー」に変更されました。そして今年ついに 4 年ぶりに世界選手権大会が開催されます。日本からはラート部門にシニア 10 名ジュニア 1 名、シル部門に 1 名、計 12 名の選手が出場します。代表選手よりコメントが寄せられていますので紹介します。

【ラート ジュニア】

● 宅和 花楓 洞峰ラート教室／遊学の里ラートサークル (直転・跳躍) ●



今回、私は世界大会に初めて出場するのでとても緊張しています。

一昨年は世界大会に出場する機会がありましたが新型コロナウイルスの影響により、開催できなくなってしまいとても悲しかったです。しかし再来年こそはと思い、2 年間新しい技に挑戦したり今まで頑張ってきた技がもっと完璧にできるよう頑張ってきました。今年は直転と跳躍の 2 種目に挑戦します。

跳躍では膝やつま先が曲がらないように飛べるようにしたいです。また直転では、新しい技を多く入れているのでまずはミスのない演技にしたいです。そして指先まで意識をし減点されるところが少なくなるようにしたいです。当日今までの中で 1 番良い演技ができるように頑張ります！

【ラート シニア】

● 伊佐 義史 沖縄県立那覇国際高校 (直転・斜転・跳躍) ●

37 歳 2 児のパパ。ここ数年疲労の回復が遅くなり、ユンケルが欠かせませんが、まだまだ現役です。ラートを始めて今年で 17 年。琉球の魂を胸に日々練習しています。

座右の銘は「蠟燭のように生きる」。ハートを燃やし周りを明るく照らします。

普段から練習を支えてもらっている方々、遠く日本から応援する家族に感謝し、カッコいい姿を見せられるように頑張ります。

また、チームのみんなが笑顔で帰国できるように、チームサポートも全力で取り組みます。



● 瓜兼 汐里 筑波大学体操部 OG (直転・斜転・跳躍) ●



日本代表に初選出された前回大会はコロナの影響により中止に。世界選手権とは縁がないと諦めていましたが、今回再び世界選手権の切符を手にすることができました。日頃支えてくださっている皆様への感謝を胸に、世界の舞台を存分に楽しみたいと思います。応援よろしくお祈いします。

● 後藤 龍一 新潟市立五十嵐小学校 (跳躍) ●

初出場ですが緊張していますが、最高の演技がデンマークの地で発表できるよう練習しています。目標は着地までを意識した減点の少ない演技です。新潟産コシヒカリのような光り輝く演技を目指して頑張ります。



● 高橋 靖彦 秋田ノーザンハピネッツ (直転・斜転・跳躍) ※デリゲーションリーダー ●



チャレンジすること。

自分が大切にしていること、自分の核となる部分です。

コロナ禍で悶々とした日々が続く中、一時は忘れてしまいそうになった感覚。

今、再び世界の舞台に立てることで蘇って来ており、直転、斜転、跳躍の 3 種目とも自分の限界にチャレンジします。特に直転は技も音楽も衣装も一新します。

たくさんの方の応援やご支援によって選手生活を続けられることに感謝しながら、力を出し切れるように臨みます。

また、久々に開催されるオンサイトでの世界大会ですので、世界のラート 仲間との再会も楽しみです。大会後はお土産話で盛り上がりましょう！行って来ます！

● 萩原 沙里菜 筑波大学 OG (直転・跳躍) ●



この度初めて世界選手権に出場させていただきます。4月からの慣れない社会人生活にドキドキバタバタしておりますが、多くの方の支えがあってラートができていくことに改めて感謝申し上げます。また、憧れの先輩方と同じ舞台に立てることを大変嬉しく思います。

世界選手権にむけて、曲付きの演技やさらにレベルアップした跳躍の技に挑戦する日々は、とても充実しております。今できる最大限の演技を、デンマークでできるよう願っています！



● 堀口 文 筑波大学体操部 特任助教 (直転・斜転・跳躍) ※選手キャプテン ●



2020年の前回大会は中止となってしまったため、今回は4年ぶりの世界選手権となります。長かったような、あっという間だったような4年間でしたが、ずっとこの日のためにラートを続けてきました。良いご報告ができるように精一杯願っています！

また、今回は初めて選手キャプテンとして臨む世界選手権でもあります。日本チームの全員がそれぞれの目指す演技ができるよう、力を尽くしたいと思っています。

ご声援よろしくお願いたします！！

● 松浦 佑希 宇都宮大学 共同教育学部 助教 (直転・斜転・跳躍) ●



いつもたくさんの応援とサポートを本当にありがとうございます。4年ぶりの世界選手権、私自身だけでなく、世界の情勢も大きく変わってしまった中、選手としてこの大会に参加させていただけることが本当に有難いことだと改めて実感しています。正直なところ、4年前と取り組んでいる技は同じですが、私の中では大きく変化することがたくさんあった4年間でした。少しでも成長した姿を皆様にお届けできるよう、頑張ります。

● 森 大輔 たまラートクラブ (斜転) ●



このような機会がありますこと関係者に皆様に心より御礼申し上げます。チーム最年長選手として、この日本代表チーム良さを発揮し皆にとって素晴らしい時、機会となるようチームを支えると共に、試合では今まで鍛錬してきた身体、技を発揮できるよう頑張っており、様々な状況が変化しているところであり、今までと異なる部分が多いかもしれません。そのような変化も肌で感じ、得られた知見を日本に持ち帰りたいと思っています。応援よろしくお願いたします！

● 安高 啓貴 筑波大学体操部 OB (直転・斜転・跳躍) ●



気付けば社会人7年目になりました。そういえば父から、3年目、7年目、10年目が節目で乗り越えななきゃいけない壁に当たると言われたことがあります。

たしかにここ4ヶ月は社会人になってからダントツで忙しい。。。ここを乗り越えてデンマークにたどり着けるか、そこが一番の難所です。

仕事の状況的に万全な状態で臨むのが難しい状況ではありますが、日本代表として選んでいただいたからには、世界大会の出場まで辿り着けるよう、なんとか仕事も頑張ろうと思います！

● 山田 光穂 筑波大学大学院/修士2年 (直転・斜転・跳躍) ●



前回大会が開催中止となりまして、初めての世界選手権出場となります。前回大会中止により苦しく辛い時もありましたが、励まし支えてくださった方々のお陰様で、再び世界の舞台に立てるチャンスを得ることが出来ました。感謝の気持ちを胸に、世界の舞台での演技を楽しみたいと思います。

また、団体戦メンバーとしても関わらせていただくので、少しでもチームに貢献できるよう精進して参りたいと思います。応援よろしくお願いたします。



【シルホイール】

● **金井 茂樹 筑波大学 OB (テクニカルプログラム・アーティスティックプログラム・IRV シルバトル)** ●

世界の舞台で演技をすることは、シルホイールを始めた頃からの夢でした。
私はシルホイールとは大学院進学後に YouTube で出会い、興味を持って始めました。
確立した指導法が無い中、ネットの情報を頼りに試行錯誤しながら練習し、シルホイールが盛んなドイツにも留学して学んできました。
私は自身の演技を通して、見てくれた人々に、興味を持ったことや新しいことを始めること、また日本を出て世界に挑戦することなどに対して、勇気を受け取っていただけるような演技をしたいです。また世界の人々に、「日本にもこんなシルホイールの選手がいるんだ」と思ってもらえるように、日本という国を代表できることを誇りにして、演技をしてきます。



選手団として以下のメンバーが選手とともに渡欧します。

【コーチ】井上 咲子, 但馬 絵美子(※デリゲーションサブリーダー), 安高 理沙
【国際審判員】安部 夏月



皆様、応援よろしくお願ひいたします。

ラート日本代表選手団の facebook ページを開設しております。

<https://www.facebook.com/rhoenradJPN>

情報を随時更新していきます。

大会期間中も、現地の様子を可能な限りアップする予定ですので、ぜひご覧ください。



4月9日(土) 洞峰公園 体育館(茨城県つくば市)

photo by k.takezono

【事務局便り】

◎ 「2022 年世界競技選手権大会」日本代表チームサポーターの募集！

世界選手権に出場する選手団の渡航や滞在に伴う費用の補助となる支援金をご援助いただける方を募集させていただきます。
物心両面から選手をサポートし、日本代表選手として活躍していただきましょう。 ご支援いただいた資金は事務局を通して日本代表選手団にお渡しさせていただきます。

● 支援金をご援助いただける方は以下の通りお願い致します。

一口 ￥1,000 より

お振込先 銀行 : 三菱 UFJ 銀行 鷹の台出張所 普通 3791895 日本ラート協会

※締め切り 2022 年 5 月 15 日(日)

今大会は、大会期間の滞在場所の変更によるホテルや食事代の負担増額、他国に依頼する審判数名分の移動や滞在費、帰国時の PCR 検査など、以前と比較し選手団への負担は大きくなっています。
ご支援の程どうぞよろしくお願い致します。

よろしくお願ひします



【編集後記】

デンマークに行くのはこの春で3回目。前は…そう、2010年のチームカップの後…え??? 12年前? 時が経つのは早いものですね。あっ! という間に過ぎる時間ですが、その瞬間を大切に過ごせば後に光り輝く思い出になりますね。

コロナ禍での今大会は、練習や渡航も選手たちにとってはいつもと違いとても大変... 皆さんからのアツイ声援が何よりの力になります。選手がデンマークで光り輝けるように、応援よろしくお願ひします!!! 私も選手団の一員として、選手に元気をもらいながらサポートに励みます。

日本ラート協会 広報部会委員 但馬 絵美子